

第6章 参考資料

1 文化や芸術に関する市民意識調査結果

(1) 調査の概要

北九州市の文化芸術に関して、市民の意識等を調査するとともに、調査結果を集計・分析し、文化芸術振興を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的にアンケート調査を実施いたしました。

項 目	概 要
調査対象	北九州市在住の18歳以上の方
抽出方法	無作為抽出
調査方法	質問紙郵送による配布 郵送又はWEBによる回収
サンプル数	調査票郵送数 3,000票 有効回収数 1,177票 (郵送997票、WEB180票) 有効回収率 39.2%
調査時期	令和5年1月下旬～同年2月中旬

(2) 調査の結果（抜粋）

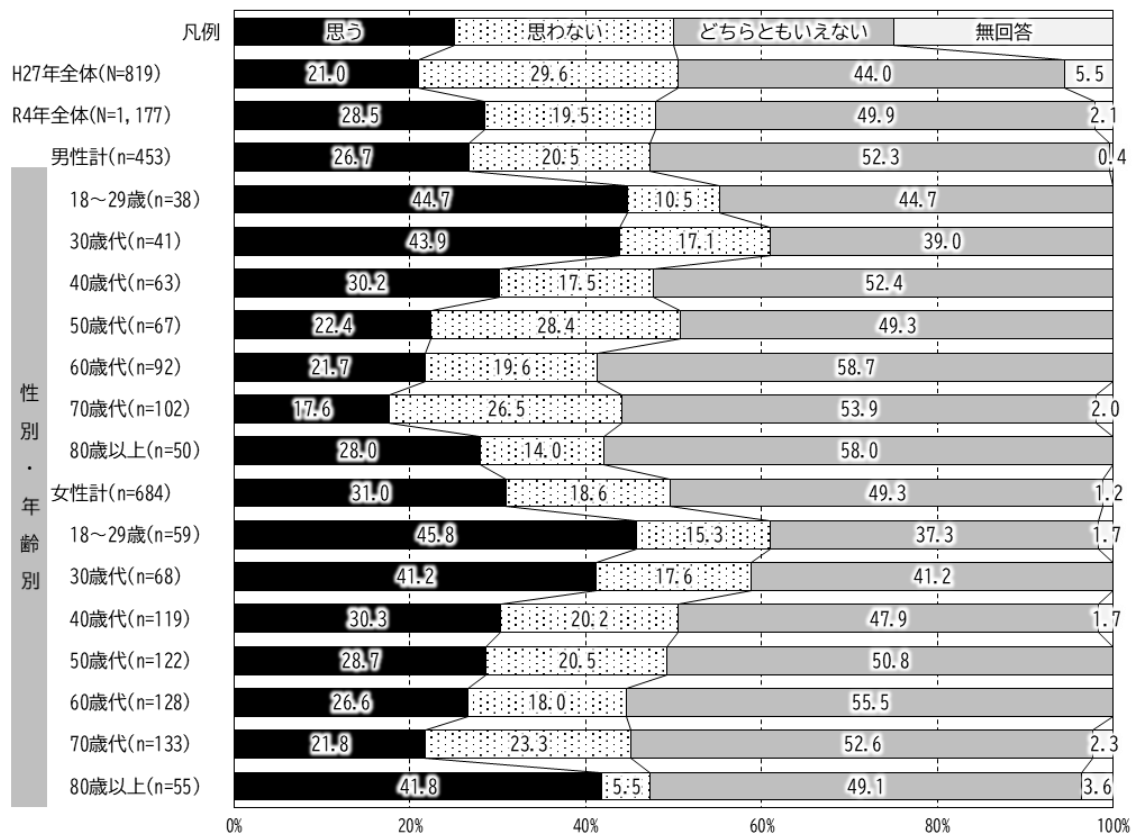
Q 北九州市が「文化のかおるまち」と思うかについて。

北九州市は「文化のかおるまち」と思うか尋ねたところ、「どちらともいえない」が全体の約半数（49.9%）を占めている。次いで「思う」（28.5%）、「思わない」（19.5%）の順となっている。

過去の調査結果と比較すると、「思う」の割合が、前回結果から 7.5 ポイントアップしている。

性別・年齢別にみると、男女ともに 30 歳代以下の若年層では「思う」が 4 割以上を占めている。一方、男性 50 歳代と 70 歳代、女性 70 歳代は「思わない」が「思う」を上回っている。

北九州市が「文化のかおるまち」と思うか



Q 文化や芸術への興味・関心の有無について。

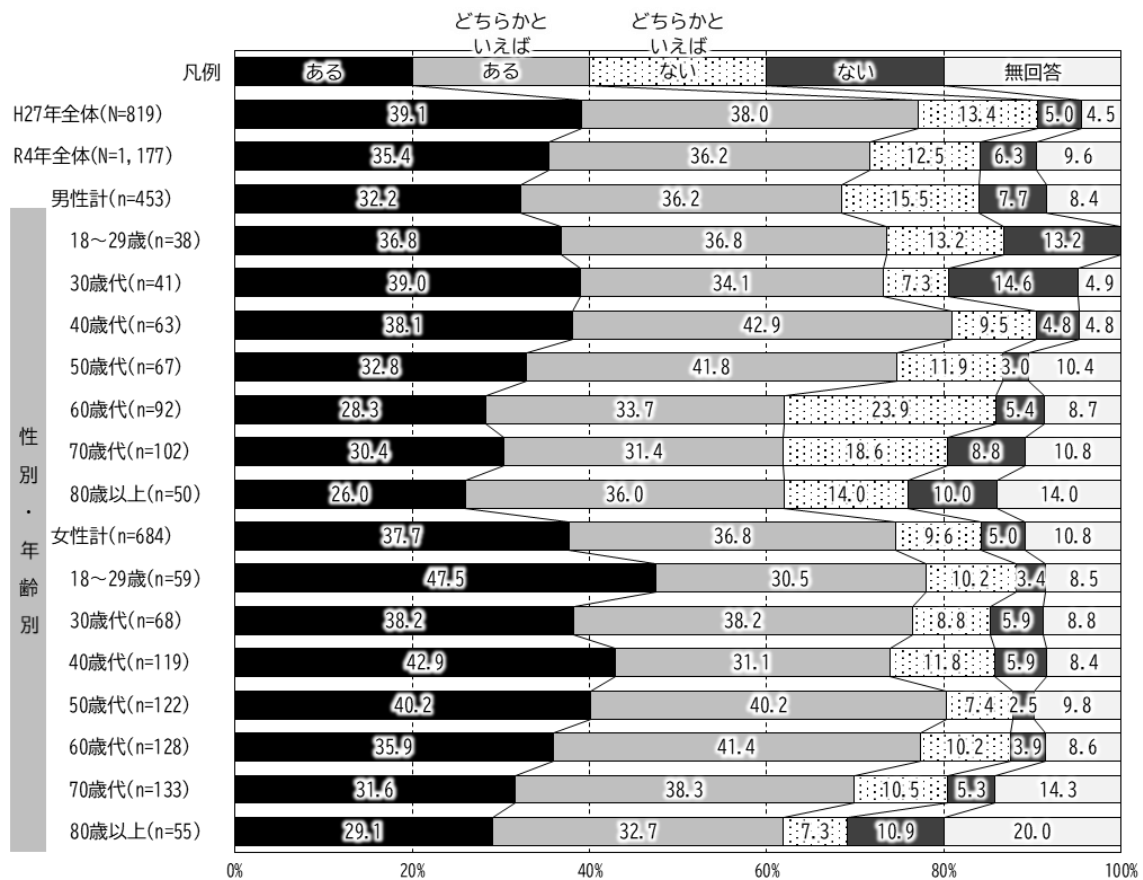
文化や芸術への興味・関心度をみると、『ある』（「ある」、「どちらかといえばある」の総和）は、全体の約7割（71.6%）を占めている。

過去の調査結果と比較すると、前回（H27年）の77.1%からは5.5ポイントダウンしているものの、文化や芸術への興味・関心は依然として高い。

性別・年齢別にみると、『ある』と回答した人は、男性が68.4%、女性が74.5%と、女性が男性を若干上回っている。

また、男性は「40歳代」（81.0%）で最も高く、次いで「50歳代」（74.6%）、「18～29歳」（73.6%）の順、女性は「50歳代」（80.4%）で最も高く、「18～29歳」（78.0%）、「60歳代」（77.3%）の順となっている。

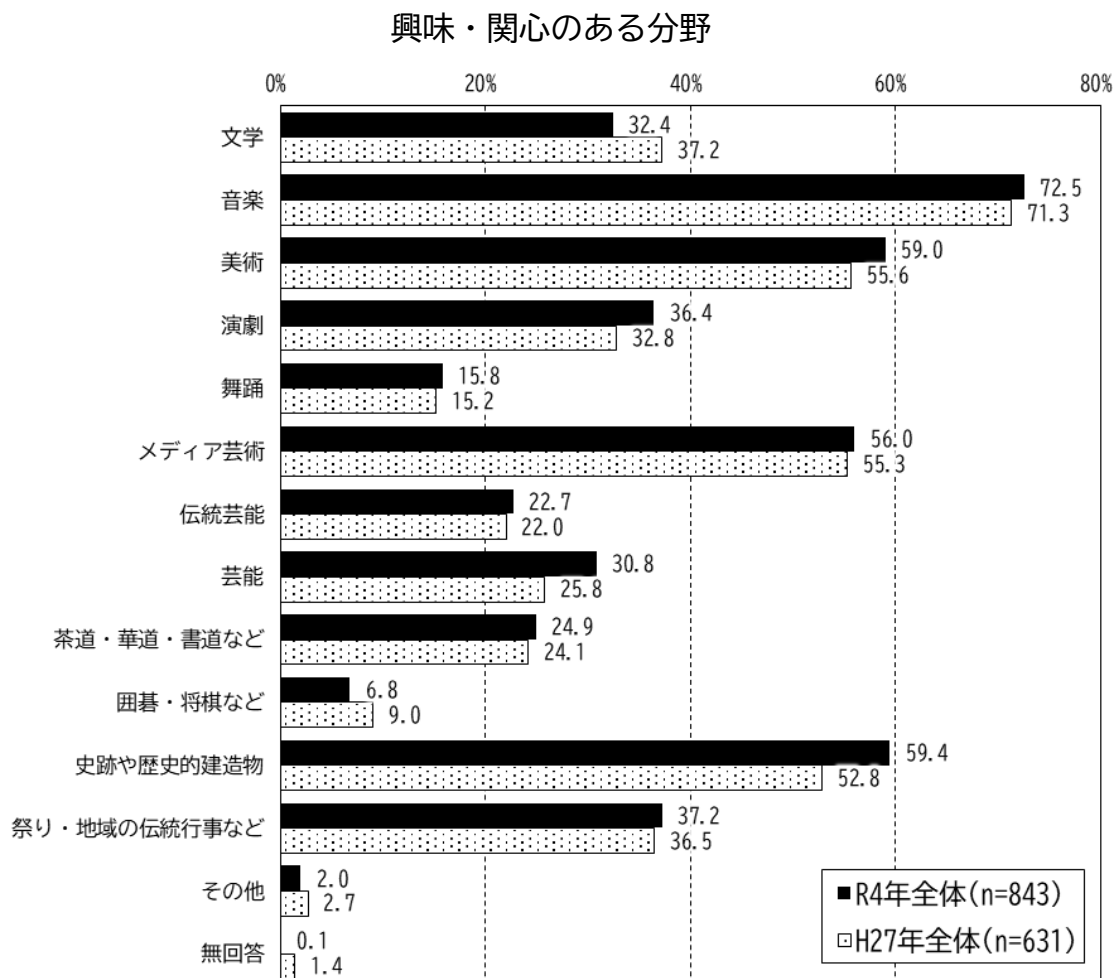
文化や芸術への興味・関心の有無



Q 文化や芸術で興味・関心がある分野について。(複数回答可)

興味・関心がある分野としては、「音楽」(72.5%)の割合が最も高く、「史跡や歴史的建造物」(59.4%)、「美術」(59.0%)、「メディア芸術」(56.0%)を含んだ4分野は回答率が半数以上を占めており、興味・関心が高い分野といえる。

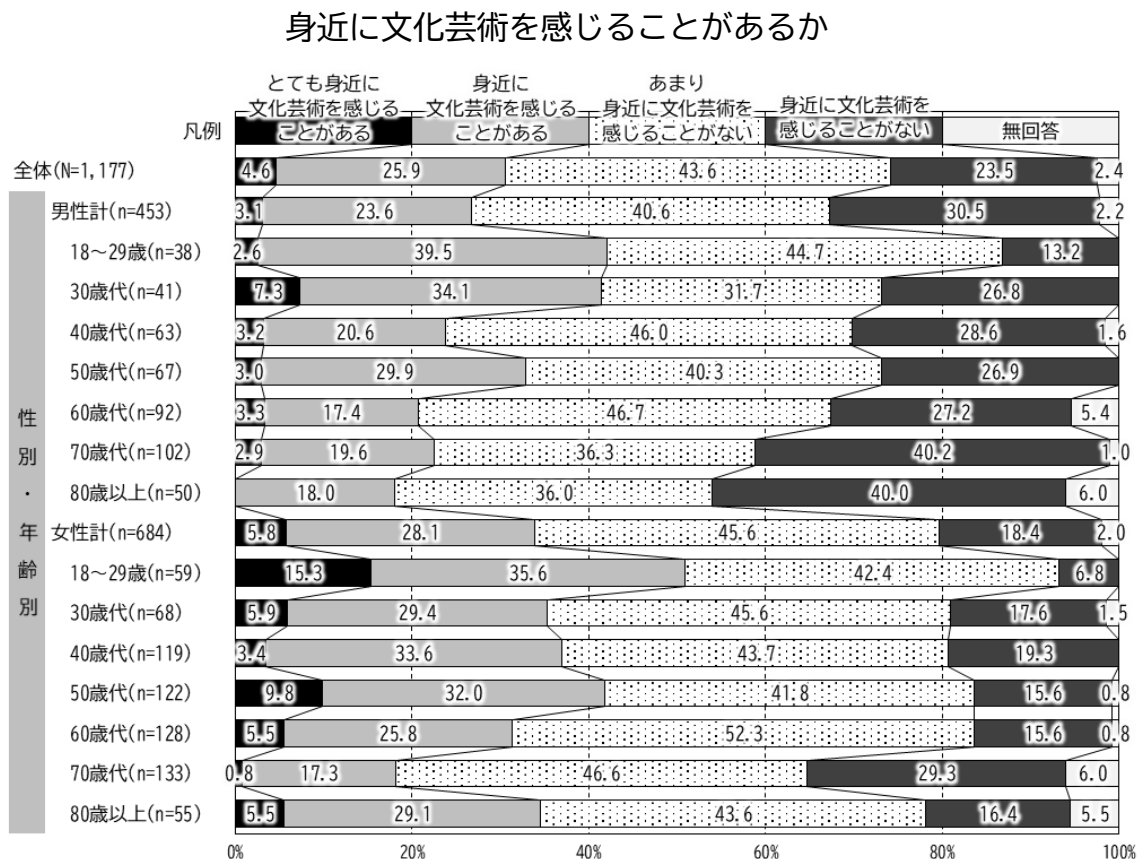
前回結果と比較すると、「史跡や歴史的建造物」(前回比：+6.6ポイント)や「芸能」(前回比：+5.0ポイント)は興味・関心が高まっており、一方で「文学」(前回比：-4.8ポイント)は興味・関心が低くなっている。



Q 文化芸術を身近に感じるかについて。

身近に文化芸術を感じることもあるか尋ねたところ、『感じる』（「とても身近に文化芸術を感じることもある」、「身近に文化芸術を感じることもある」の総和）が 30.5%、『感じない』（「あまり身近に文化芸術を感じることはない」、「身近に文化芸術を感じることはない」の総和）が 67.1%となっている。

性別・年齢別にみると、男女ともに 18～29 歳で『感じる』が最も高く、70 歳代で『感じない』が最も高い。また、男性 70 歳代以上では「身近に文化芸術を感じることはない」が 4 割以上と高くなっている。女性 18～29 歳では唯一『感じる』が『感じない』を上回っている。

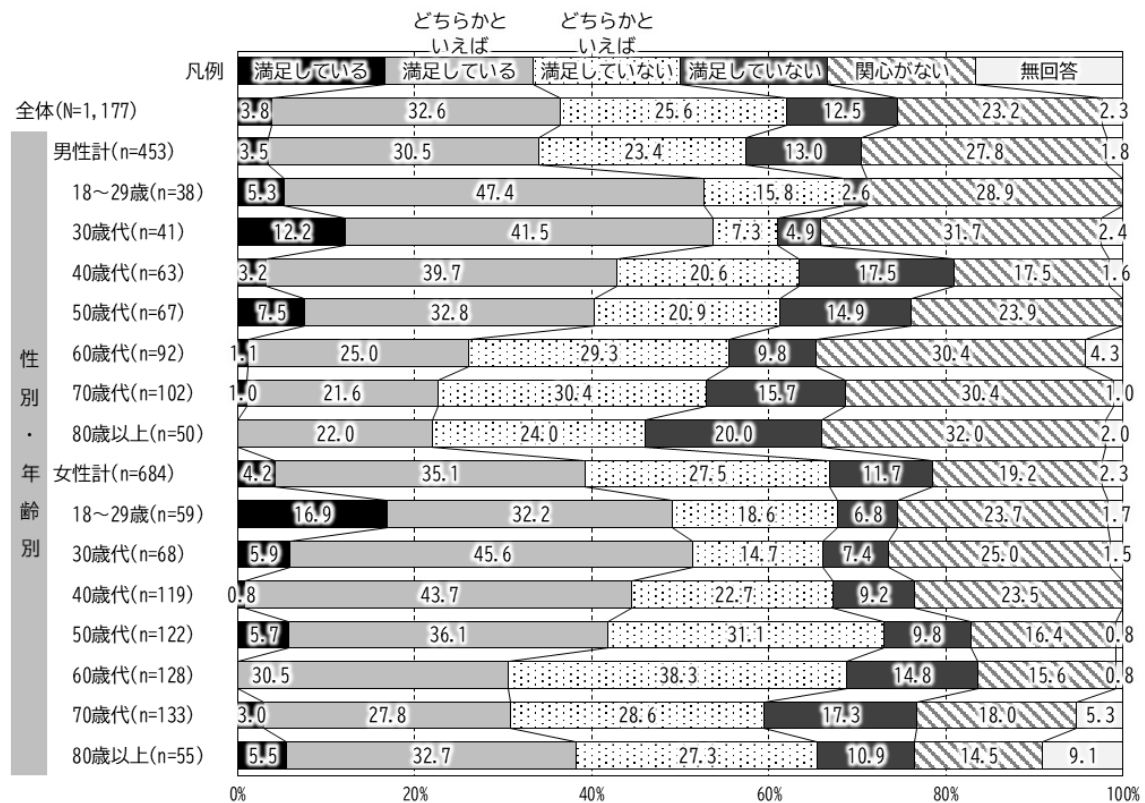


Q 北九州市の文化芸術環境の満足度について。

北九州市の文化芸術環境に対する満足度についてみると、『満足している』（「満足している」、「どちらかといえば満足している」の総和）が36.4%、『満足していない』（「どちらかといえば満足していない」、「満足していない」の総和）が38.1%、「関心がない」が23.2%となっている。

性別・年齢別にみると、男女ともに30歳代で『満足している』割合が最も高い。一方、男性の70歳代、女性の60歳代で『満足していない』が最も高くなっている。女性よりも男性の方が「関心がない」割合が高い。

文化芸術環境の満足度



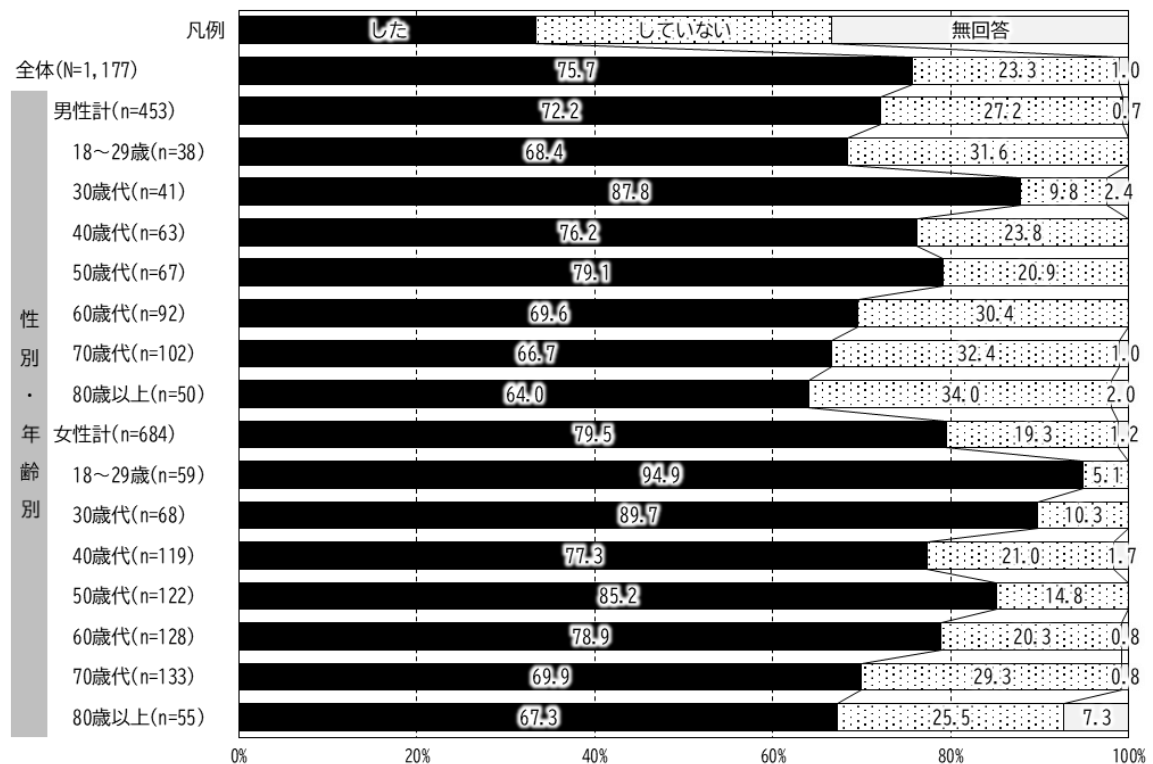
Q 外出による文化芸術イベントの直接鑑賞（テレビ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く）の有無について。

※最近1年間

最近1年間の直接鑑賞の有無についてみると、外出して何かしら文化芸術イベントの直接鑑賞を「した」と回答した人が7割以上（75.7%）を占めている。

性別・年齢別にみると、男女ともに年齢が低いほど直接鑑賞を行なっている人が多い傾向がみられるが、男性 18～29 歳は 68.4%と低くなっている。18～29 歳の若年層では男女差（男性 18～29 歳：68.4%、女性 18～29 歳：94.9%）が最も大きい。

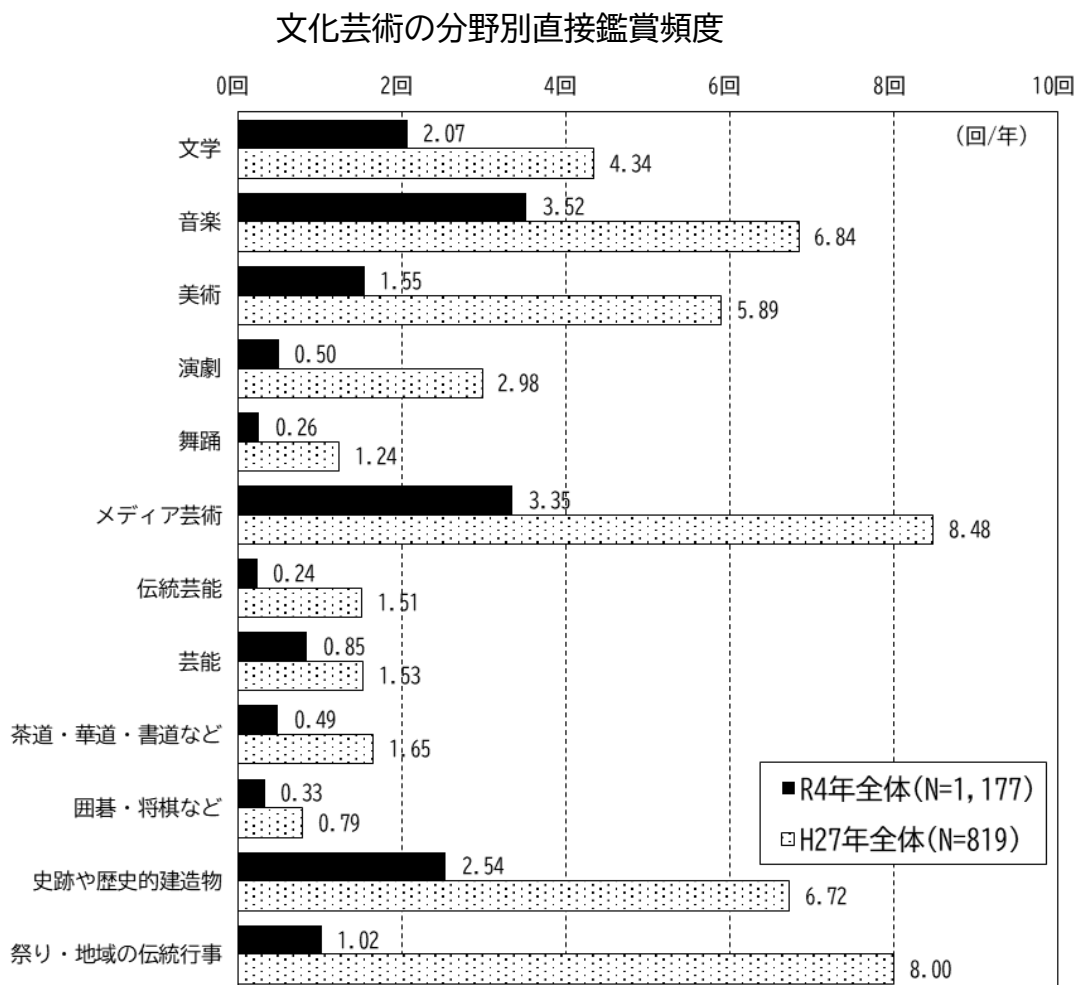
文化芸術の直接鑑賞の有無



Q 外出による文化芸術イベントの分野別直接鑑賞頻度について。
 (複数回答可) ※最近1年間

最近1年間の文化芸術の直接鑑賞の頻度についてみると、平均頻度は「音楽」が3.52回／年で最も多く、次いで「メディア芸術」(3.35回／年)、「史跡や歴史的建造物」(2.54回／年)、「文学」(2.07回／年)などの順となっている。なお、最も鑑賞頻度が低いのは「伝統芸能」(0.24回／年)となっている。

前回結果と比較すると、全ての分野で平均頻度が低くなっており、新型コロナウイルスの感染拡大による影響と考えられる。特に、「祭り・地域の伝統行事」(前回比：－6.98回／年)や「メディア芸術」(前回比：－5.13回／年)は前回から大きく直接鑑賞の頻度が低くなっている。

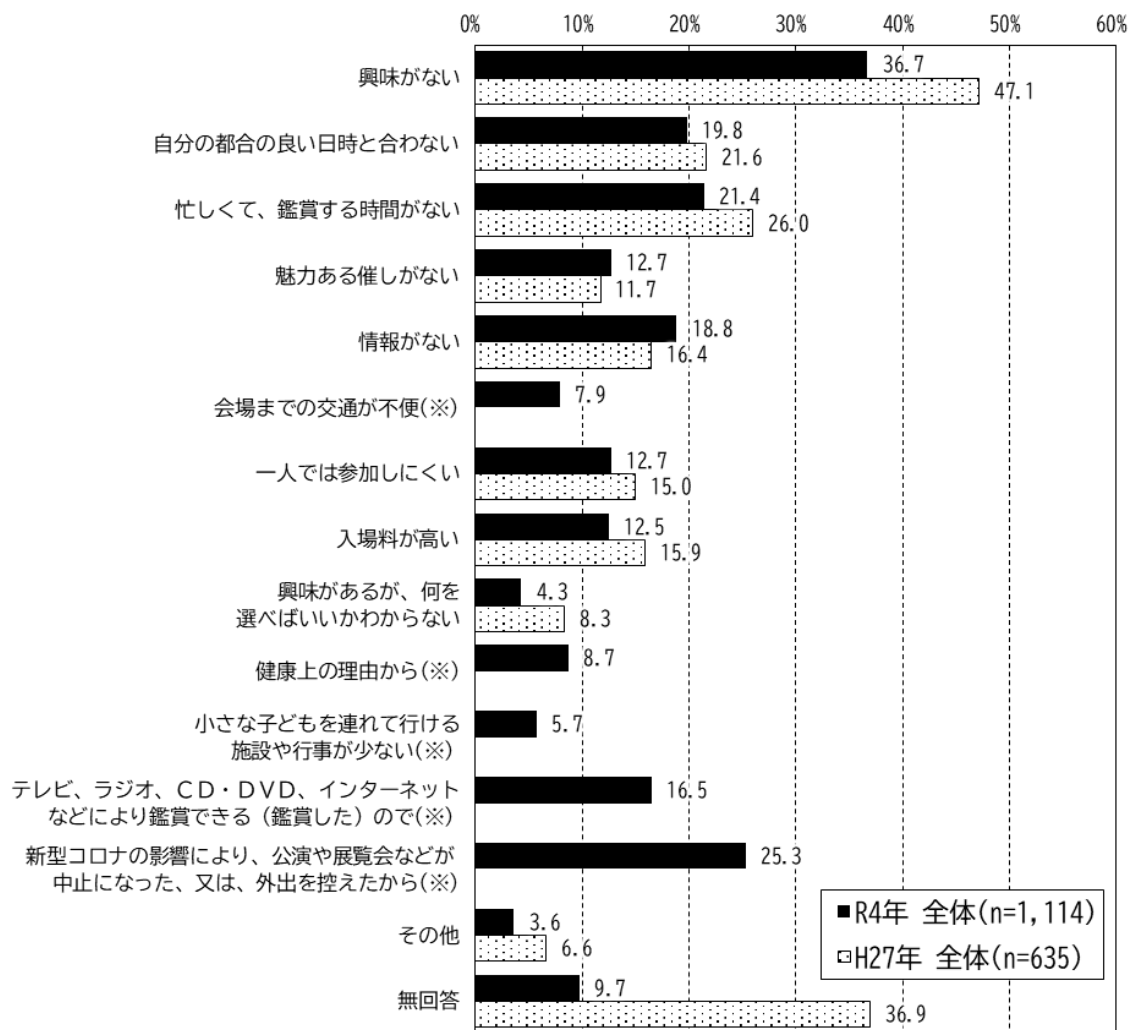


Q 外出により文化芸術イベントを直接鑑賞していない理由について。(複数回答可)
 ※最近1年間

鑑賞しない理由としては、「興味がない」が36.7%と最も高く、次いで「新型コロナの影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は、外出を控えたから」(25.3%)、「忙しくて、鑑賞する時間がない」(21.4%)、「自分の都合の良い日時と合わない」(19.8%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「興味がない」や「忙しくて、鑑賞する時間がない」という回答は減っているものの、新型コロナウイルスの影響が鑑賞しない理由の大きな1つとなっている。

文化芸術を直接鑑賞しない理由



※R4 調査項目追加

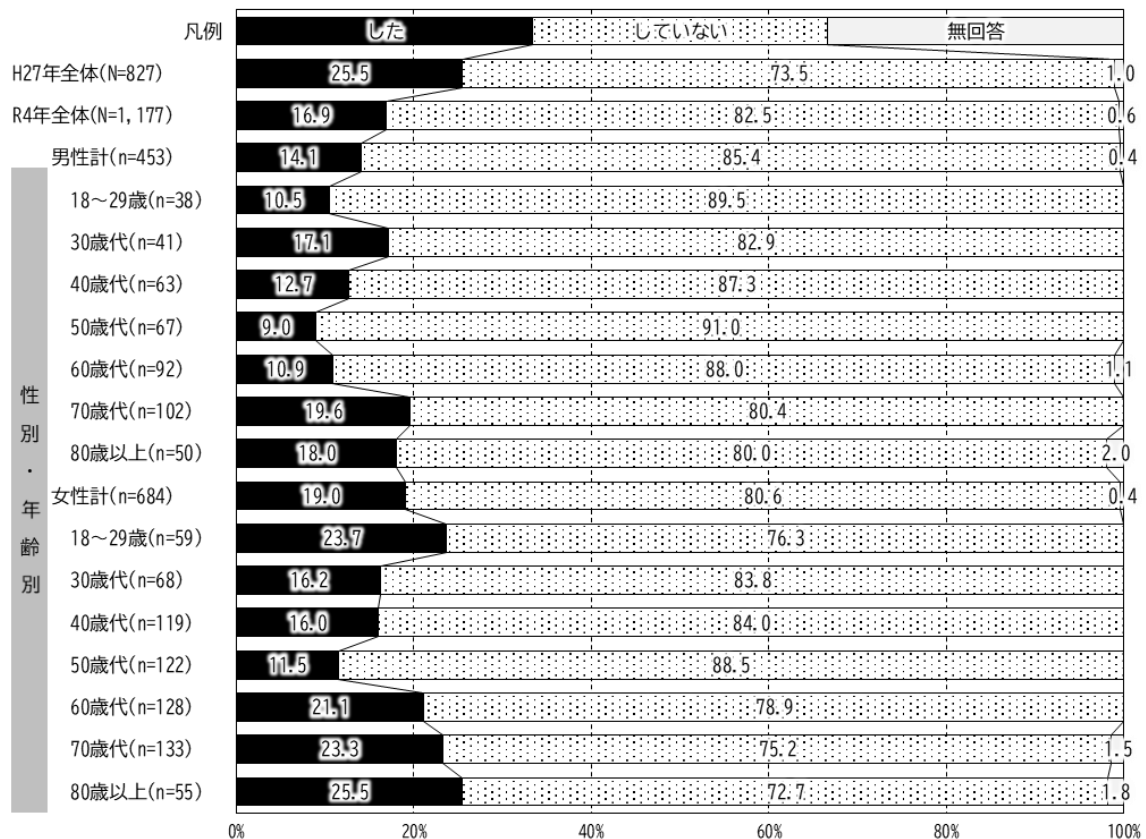
Q 文化や芸術に関する活動の有無について（鑑賞除く）。

※最近1年間

最近1年間の文化や芸術に関する活動の有無についてみると、「していない」が82.5%と大半を占めており、過去の調査結果と比較すると、「していない」（前回：73.5%）の割合は前回から更に高くなっている。

性別・年齢別にみると、男女ともに70歳代以上の高齢者層は文化や芸術に関する活動を行っている人が多い傾向がみられる。一方で、男女ともに50歳代の「していない」割合が他の年代に比べて高くなっている。18～29歳の若年層では男女差（男性18～29歳：89.5%、女性18～29歳：76.3%）が最も大きい。

文化や芸術に関する活動の有無



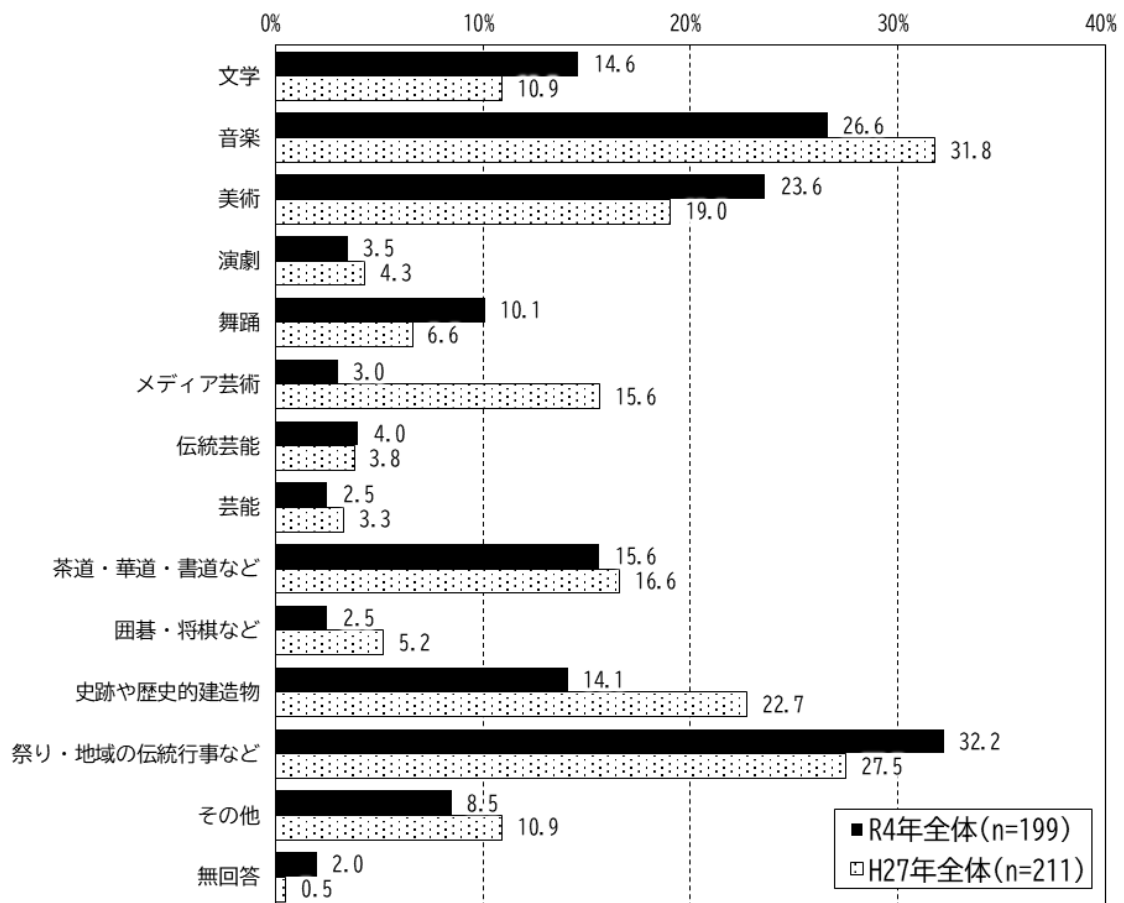
Q 文化や芸術に関する活動をした分野について。(複数回答可)

※最近1年間

文化・芸術に関する活動を最近1年間に「した」と回答した人の活動分野は、「祭り・地域の伝統行事など」(32.2%)の割合が最も高く、次いで「音楽」(26.6%)、「美術」(23.6%)、「茶道・華道・書道など」(15.6%)、「文学」(14.6%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「メディア芸術」(前回比: -12.6 ポイント)や「史跡や歴史的建造物」(前回比: -8.6 ポイント)は活動が減っている分野である一方、「祭り・地域の伝統行事など」や「美術」(前回比: それぞれ+4.7 ポイント、+4.6 ポイント)は活動が増えている。

文化や芸術に関する活動の分野



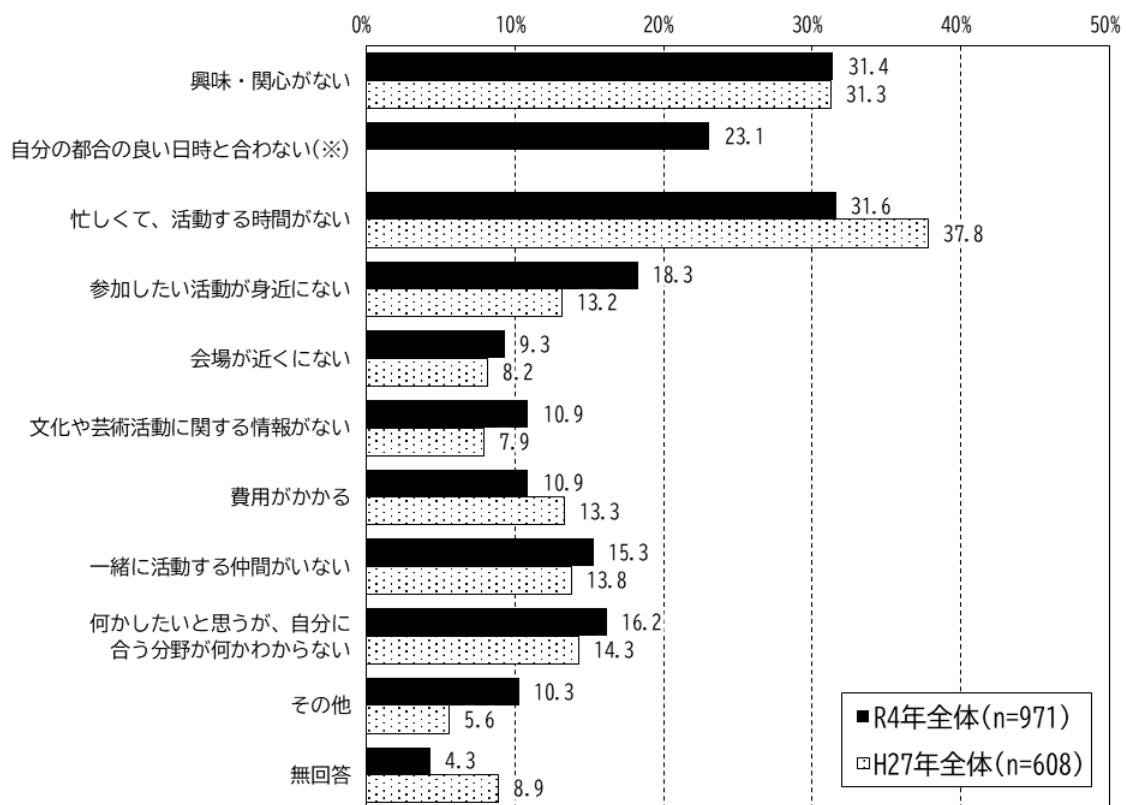
Q 文化や芸術に関する活動をしていない理由について。
 (複数回答可)

※最近1年間

文化や芸術に関する活動を「していない」と答えた人に、その理由を尋ねたところ、「忙しくて、活動する時間がない」(31.6%)と「興味・関心がない」(31.4%)がそれぞれ3割を超えている。他には「自分の都合の良い日時と合わない」(23.1%)、「参加したい活動が身近にない」(18.3%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「忙しくて、活動する時間がない」(前回比：-6.2ポイント)が減る一方で、「参加したい活動が身近にない」(前回比：+5.1ポイント)が増えている。

文化や芸術に関する活動をしていない理由



※R4 調査項目追加

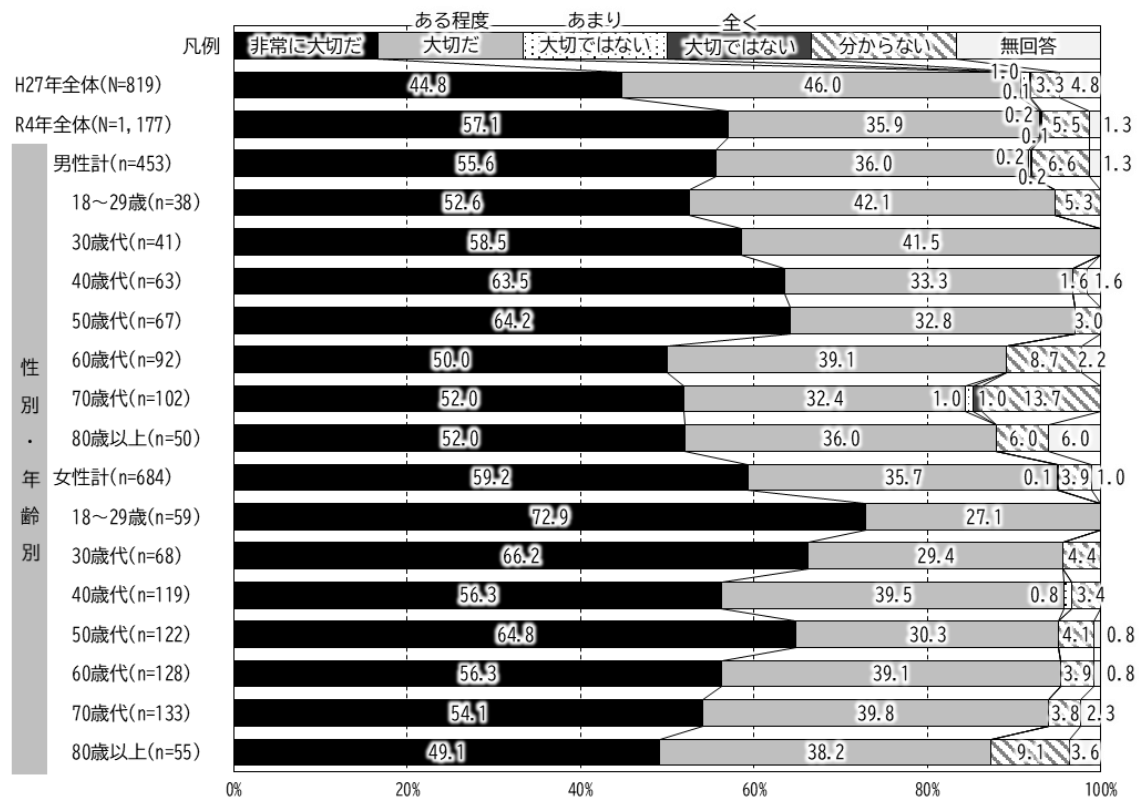
Q 子どもの文化芸術体験や文化芸術活動の重要性について。

子どもの「文化芸術体験」や「文化芸術活動」の重要性についてみると、『大切だ』（「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の総和）が 93.0% となっている。

前回結果と比較すると、『大切だ』は 2.2 ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、男女全ての年代で『大切だ』の回答が 8 割以上となっている。

子どもの文化芸術体験や文化芸術活動の重要性



**Q 子どもの文化芸術体験や文化芸術活動で大切な分野について。
 (複数回答可)**

分野ごとの重要性についてみると、「美術」(61.7%)、「音楽」(61.5%)、「祭り・地域の伝統行事など」(61.3%)、「史跡や歴史的建造物」(53.4%)の4分野は全体の5割以上の回答が得られている。

子どもの文化芸術体験や文化芸術活動に関する分野別の重要性

